

推せん状交付



神栖市長選挙 伊藤 大候補（会員）



行方市長選挙 鈴木 周也候補

○月施行予定の神栖市長選挙において立候補予定の伊藤大会員に当会からの推薦状を交付するため、8月10日に事務所にお伺いし激励しました。会員の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

9月施行予定の行方市長選挙において立候補予定の鈴木周也市長に当会からの推薦状を交付するため、8月16日に行方市役所にお伺いし激励しました。会員の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

東海村長選挙結果報告

告示日：8月22日

当会推薦の山田村長が2期目の当選を無投票にて勝ち取られました。ご当選を心よりお祝い申し上げますとともに、ご活躍をお祈りいたします。また、会員の皆様からのご支援を今後も賜りますようお願い申し上げます。

東海村長に山田氏再選

無投票 原発「きちん」と判断



任期満了に伴う東海村長選は22日告示され、無所属で現職の山田修氏(56)以外に立候補の届け出がなく、無投票で再選が決まった。同村長選の無投票は2001年以来16年ぶり。有権者は3万9977人(21日現在)。(20面に「ひと」解説)

無投票で再選を果たし万歳三唱する山田修氏(中央)と東海村舟石川駅西

【山田修(やまだ・おさむ)氏の略歴】当選2回。元県職員。高崎経済大卒。村松

山田氏は同日午前10時から出陣式を行い、村内全域を回って支持を訴えた。無投票当選が決まり、午後5時半ごろ、同村舟石川駅西の特設会場で支持者などとともに万歳三唱した。山田氏は、日本原子力発電東海第2原発(同村白方)の再稼働問題などについて「3万8千人の村民の命を預かる者としてきちん」と判断したい」と述べた。

2期目を巡っては、3月の村議会でも立候補を表明した。プレミアム商品券の発行や店舗改修費の補助金制度の創設をはじめとする商業の振興や村観光協会の体制強化、廃止されたバス路線の復活などを1期目の実績に挙げ、国道6号の村内路線の4車線化や、原子力科学研究を通じた大学院キャンパス誘致などを公約に掲げた。

山田氏は東海第2原発の再稼働について、国による新規基準の適合性審査や、原子力安全協定の見直し協議と広域避難計画の策定が途上にあることから「判断できる状況ではない」と是非を明言していない。(斉藤明成)

平成29年8月23日(水)
茨城新聞

落選

会員の皆様のご協力ご支援を賜りました橋本昌候補、誠に残念ではありましたが当選することができませんでした。

改めまして、選挙へのご協力に厚く御礼申し上げます。

引き続き政治連盟として、県に対しましてこれまで同様に行政書士制度へのご理解を頂けますよう活動して参りますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

ご協力、ありがとうございました。